

Brief Letter

ブリーフレター

56

JULY
2014

新任スタッフ メンバー紹介

緩和ケアセンター長 畑地 美妃
臨床検査技師 井上 幸

千一夜医話

秋本病院理事長・院長 秋本 亮一

ホームページのブログから

給食室より／
蒸しナスのツナごまソース

スタッフの横顔



日本医療機能評価機構
認定第GA82号

絵：宮本フ左



医療法人 AGIH

秋本病院

〔救急告示病院〕〔日本医療機能評価機構認定病院〕
消化器内視鏡センター／健診センター／緩和ケアセンター

SHOP
散策

本場インド料理専門店 ミラン

薬院六つ角の本格インド料理屋さん

蒸し暑い日が続くとインドやタイの料理が食べたくなりませんか。幸いなことに病院の近くにはどちらのレストランもありますよ。今回は本格インド料理専門店をご紹介します。秋本病院から徒歩3分、黄色の外装がひととき目立つ、薬院六つ角のインド料理屋さん「MILAN」。

MILANはインド語で“出会い”の意味。オーナーのシャルマ・ラム・チャンダクさんが六つ角の中心にお店を開いて今年の9月で11年だそうです。来日して25年。福岡市内の親不孝通りに“ナーナック”という店をオープンするにあたり、社長のシンさんがニューデリーからシェフとして呼び寄せたのが、来日のきっかけ。取材者は“ナーナック”とは、古くからご縁があり、MILANに初めてうかがったとき、馴染みのインド料理の味がしたのは同じシェフの味だったわけです。

沢山のスパイスで作られたカレーは20数種。辛さはお子様用から激辛まで4段階。個人的な好みはホウレンソウが入ったカレー（ヘルシーカレー 950円、シュリンプサグカレー 1050円）、店長お薦めはチキンバターマサラカレー 1050円。インド独特の土釜（タンドールオープン）で焼かれたナンはいろいろな種類があり（330～460円）、外側はパリッと内側はジューシーで激ウマ！勿論、タンドリーチキン・ラム・シュリンプ・シーカバブなどもこれらの季節ビールにピッタリ。インド料理 MILAN の特徴は、オーナーがヒンズー教徒なので牛の料理がないことも頷けますね。ヒンズー教にとって牛は神様ですもの。



▲1階席から見えるキッチン



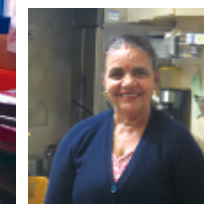
▲2階にも席があります



▲今回取材を快く受けてくださった店長のシャルマ・マニッシュさんは2代目



▲ミランランチは 850～1450円。カレーライスランチも好評。ナンはランチタイム・ディナータイムもおかわり OK！お持ち帰り、パーティメニューも充実しています



▲キッチンでニコニコスタッフの仕事をみているママさん

店舗情報 本場インド料理専門店
ミラン

住所：福岡市中央区薬院
1-11-11（薬院六つ角）
電話：092-713-0733
営業時間：〈平日〉ランチ 11:00～15:00
ディナー 17:30～23:00
〈土・日・祝日〉11:00～23:00
定休日：なし（年中無休）



編集後記



ブリーフレター56号の編集作業をしていますが、サッカーワールドカップ真っ最中なので、どこかに侍ブルーを身に着けて念を送っていましたが…日本チームは残念な結果でした。

さて、毎回好評の宮本フ左様のご好意で使わせていただいている表紙の絵、今月は“にがうり”です。昼食時ミーティングルームで、職員に「ゴーヤ（にがうり）好きな人～（^_^）」と聞きましたら、大好きな人はその場にいた9人中3名。あの独特な苦みがなせる業?!我が家は大好きチームで、西日が当たる場所にグリーンカーテンとして栽培し、シーズン中は毎日のようにいろいろな料理で登場します。ヒットはピクルスとゴーヤチップス。冷えたビールやハイボールのおつまみにお試くださいな。（畑間 啓子）

秋本病院 ブリーフレター No.56 2014年7月発行 発行者／秋本亮一 発行所／医療法人 AGIH 秋本病院 デザイン／有限会社 広告農場 編集／矢野 美恵子
Copyright 2009-2014 Akimoto Hospital All rights reserved.

医療法人 AGIH 秋本病院 福岡市中央区警固1-8-3
TEL:092-771-6361

●診療科目：外科（消化器外科）・内科・胃腸科・肛門科・心臓血管外科・整形外科・脳神経外科・放射線科
●外来診療受付：平日8:30～12:30/14:00～17:00 土曜8:30～12:00 ●休診日：日・祝

<http://www.akimoto-hospital.jp/>

秋本
病院の
理念

1. 専門医療を通じ、地域社会に貢献します。
2. 皆さまのご満足と安心のために、医療に関する十分な情報を提供します。
3. 質の高い心のこもった医療を続けるために、常に研鑽努力します。

新任スタッフ紹介

当院に新しく2名のスタッフメンバーが入職いたしましたので、ご紹介いたします。
新戦力も加わって、より一層充実した医療サービスをご提供できるよう、努めてまいります。



緩和ケアセンター長
畑地 美妃

この度、秋本病院緩和ケアセンターに就任いたしました畑地美妃です。どうぞよろしくお願いいたします。
私は平成8年、東京女子医大を卒業し、同年同大消化器病センター外科に入局しました。そこでは消化器癌を中心に癌外科治療を11年間おこなっていました。その中でたくさんのお患者さんとの出会い、たくさんのお思いがありました。そのような中、がん終末期という時期の大切さを深く考える機会を与えられ緩和ケア医の道を歩み始めました。
緩和ケアとは特別なものではないと思っています。がん治療をしている医師であれば誰でもが緩和ケアをしています。しかし、緩和ケア医として病棟に立ってみた時、治療医としては見えてこなかった患者さんの姿があることに気付かされました。
身体的痛み、これは分かりやすいものとして医師の前



に現れます。しかし、表に現れづらいものがたくさんあるのです。それらを緩和ケアでは、精神的痛み、社会的痛み、さらにはスピリチュアルペインと呼びます。痛みと呼ばれるものにはこれらが内包されていたのです。
・身体的苦痛…痛み、息苦しさ、倦怠感、吐き気、食欲不振、日常生活動作の支障、など
・精神的苦痛…不安、落ち込み、うつ状態、いらだち、恐れ、怒り、孤独感、など
・社会的苦痛…経済的な問題、仕事上の問題、家庭内の問題、人間関係、遺産相続、など
・スピリチュアルな苦痛…人生の意味への問い、価値体系の変化、苦しみの意味、罪の意識、死への恐怖、神の存在への追及、死生観に対する悩み、など
秋本病院はとてもハートフルなスタッフが揃っている病院です。患者さんの抱えるこれらの痛み、心を砕き、誠意を込めてケアをしていく姿を日々、目の当たりにしています。そのような環境の病院に縁ができましたことを心から感謝しています。私もこのようなスタッフと共に「この病院で良かった。」と患者さん自身、ご家族の方から思っていただけのように努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
緩和ケアの概念：WHO(世界保健機構)
「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、クオリティー・オブ・ライフ(QOL)を改善するためのアプローチである。」



臨床検査技師
井上 幸

はじめまして。4月より検査部に勤務させて頂いている、井上幸と申します。以前の職場は西区の適度な都会？いや田舎？の病院に勤務していました。そこでは、多人数で業務を行っていたため、生体機能検査業務を主に行っていました。検体業務は当直のときのみでした。今回、臨床検査技師になって初めての一人部署です。
当然ですが、ひとりで全ての業務をこなさなくてはならず、不慣れなことも多々あり、戸惑うことや不安なことも多い毎日ですが、他部署のスタッフとの連携をはかりながら、患者さまにスムーズに検査をうけていただけるように努めてまいります。
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



6/14(土) 14時～ 第15回秋本メディカルセミナー 「健康ってなんだろう？」を開催しました！



◀東京女子医科大学、国立医療センター、国立がんセンターなどでの勤務経験に基づく、畑地医師の「健康ってなんだろう？」はとても興味深いものでした



▲がんサバイバー(がんを克服したり、がんと向き合う人)の話などに、励まされている方も多くいらっしゃいました

今回は、当院緩和ケアセンター長を務める畑地医師より「病や健康の本当の意味」についてを、ご入院の患者さま、ご家族、警固自治会のみなさんと聞きました。
「健康」とは、身体だけでなく精神的な面が担う役割も大きいそうで、「魂の躍動を持っている」ことも大変重要だということでした。これまでがん治療に従事し、多くのがん患者さんと向き合ってきた経験から、病には現代医学・医療だけが何とかしてくれる訳ではなく、その人の「アイデンティティ」が重要だと感じているそうです。病気(身体)に支配され凝り固まった考え方を一度リセットし、柔軟な思考を持つことで無限の可能性を引き出し、病状をも変えることがあるという話に、皆さんは興味深く真剣に耳を傾けていました。



夏野菜を使ってさっぱりした一品を！ 「蒸しナスのツナごまソース」



管理栄養士 境 英里子



材料（2人分）

ナス……………150g	A
ツナ缶……………1缶	濃口しょうゆ……………大さじ1
大葉……………3枚	砂糖……………小さじ1/2
すりごま……………大さじ1	ごま油……………小さじ2
	レモン汁または酢……………大さじ1
	生姜汁……………小さじ1/2

作り方

- ①ナスはヘタを取ったあと縦に6つに切り、ざるに取って水にさっと通す。
- ②蒸気の上があった蒸し器に①を並べ、強火で8～10分蒸す。ざるに取り、粗熱が取れたら冷蔵庫で冷やしておく。
- ③Aとすりごまを合わせてソースを作る。
- ④ツナは余分な油を除き、小さくほぐして③のソースを半量かける。
- ⑤②のナスを手で裂き、皿に並べて④をかける。さらに残りのソースをかけ、千切りした大葉を散らす。

ナスは一年中流通していますが、旬は7～9月の夏野菜です。ナスの皮の紫色はアントシアニン類のナスニンという色素で、抗酸化作用やコレステロールの吸収を抑える作用があり、高血圧や動脈硬化を予防する効果もあるとも言われています。

今回は蒸しナスにしていますが、このメニューは焼いても、とてもおいしくいただけます。早めにナスを調理して冷蔵庫でよく冷やしておくことがおすすめです。蒸し暑くなるこの季節、食が細くなりがちですがさっぱりとした一品ですのでぜひ作ってみてください。



スタッフの横顔



お母さんのように
温かい人柄が
周囲の人を包み込む！

緩和ケアセンター看護師 原田 真千子

パワフル元気な原田さん。若い子たちに負けなくらい夜勤もやっていて、お母さんのような風格があり、安心します。三つ編みがいつもビシッとセットされていて、髪の毛の長さは可愛いお尻が隠れるくらい！

今度、三つ編みの仕方を教えてください♡

By 枝豆



皆様に安心して医療サービスを受けていただけるよう、さまざまなスタッフが活躍しております。このコーナーでは、そのスタッフたちの素顔をご紹介します。



明るい性格、テキパキした
仕事ぶりで皆の人気者！

外来看護師 内村 仁美

きびきびと仕事をする姿、裏表のない性格は患者さまにはもちろん、スタッフにも親しまれ、入職して3年目ですが10年も前から秋本病院に居たかのような慣れぶりです。美味しいものの話しをする時の彼女の瞳はキラキラで、チョコレートとコーヒーが大好き。

趣味はカメラ。カメラを持っていたらあなたもポーズを取ってみませんか？よりカッコよく、よりきれいに写してくれるかも？？です…

By ドクター王



ホームページのブログから

このコーナーでは、当院のブログの中から、特に皆さんにご覧いただきたい記事をピックアップしてご紹介します。

2014年4月の「コンシェルジュブログ」より

ホームページ更新用写真撮影

<1日目>

新入ドクターやスタッフメンバーの入れ替わりなどもあり、心機一転を兼ねて、HP更新用の写真撮影。2日間、山田カメラマンは、レフ板、照明など沢山の機材を持って、院内を激写です。

日常業務、外来診療、カンファ、検査などの隙間時間をねらっての撮影、みなさんご協力ありがとうございました。おかげさまで院内の雰囲気が伝わる、いいショットがたくさん撮れました。

山田カメラマンは自然光とレフ板使いの名人のうえ、やさしい声掛けで、女性が（男性も(^_^)）素敵に！お天気に恵まれたので、4階のウッドデッキでもいい写真が沢山撮れたようです。

<2日目>

撮影2日目は外来診療終了と合同カンファの間を使って、スタッフメンバーの集合写真から。いろいろなグループが、院長を囲んで談笑…がテーマです。

山田カメラマンはどんな写真に仕上がるのでしょうか？楽しみです。

★リニューアルしたホームページもぜひご覧ください！

ホームページからも、ぜひスタッフのブログをご覧ください！

<http://www.akimoto-hospital.jp/>

1日目は緩和ケアセンターから。4月から入職の畑地ドクターを囲んで、撮影開始です



2階、待合室、受付での撮影風景。モデルを快く引き受けてくださった患者さま、ありがとうございました



女子が多い職場ですが、男子組もがんばりました



合同カンファも撮影隊侵入！レアな写真が撮れました



全員ナイス表情はなかなか、大変…で笑わせオジサン登場(*^_^*)



内視鏡センターでは井上ドクターの絶大な協力



緩和ケアセンターでは、認定看護師のMさんがシーツ交換の真っ最中…カメラマン「レアな仕事ぶり…いいですね～」

詳しくは受付にお問い合わせください。ホームページにも詳細を掲載しております。

【外来日】
火・水・金の午前中
※「矯正クリップ」や「超弾性ワイヤー」は保健適応が無いので、使用した場合は自費診療になります

爪の縁の先端が周囲の肉（組織）に食い込んで炎症を起こすことです。痛みがあり、腫れて汁が出てたいへん厄介です。原因は爪の切り方（深爪）が良くないことが大半です。炎症の治療が先決ですが、巻き爪の矯正も必要になることがあります。

巻き爪（過彎曲爪）
足の親指に生じることが多く、原因は先が尖った靴やハイヒールと言われています。原因不明の事もあります。当院では、矯正クリップや超弾性ワイヤーを使った爪の矯正を行っています。



外科 上野裕之医師による爪外来を始めました。爪の病気、特に巻き爪と陥入爪（かんにゅうそう）は現代の都会人に多く見られ治療が難しく悩ましい疾患です。

爪（巻き爪）
外来のお知らせ